

令和5年度のウミガメ保護活動について

ウミガメ学習会

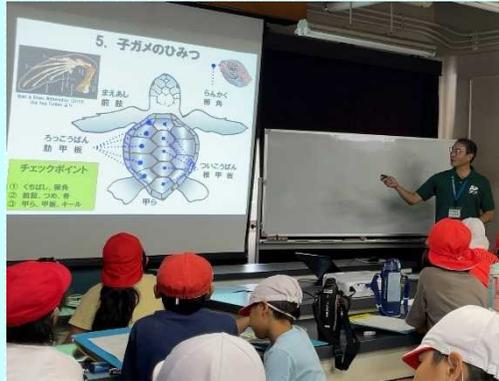
高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設の齊藤知己教授と研究室の学生さんが高知市立春野東小学校と高知市立春野西小学校の四年生へウミガメ学習会を開催しました。



国土交通省高知河川国道事務所からは、海岸浸食、高潮、越波対策のため実施している海岸事業の説明や工事現場・ウミガメの卵の保護施設（ふ化場）を見学しました。



学習内容



子ガメのからだの名称や子ガメしか見られない頭部や甲らの特徴を教えてくださいました。



産卵した巣の位置やふ化した子ガメが砂の中からはい出してくる時間や産卵からふ化までの日数、海ガメが大きくなるまでの環境などを教えてくださいました。

- ① 日本で産卵するウミガメ類
- ② アカウミガメの一生と産卵
- ③ 卵のひみつ
- ④ アカウミガメのふ化・脱出について
- ⑤ 子ガメのひみつ
- ⑥ ウミガメを脅かす要因
- ⑦ 高知県の産卵地の現状



高知大学 総合研究センター 海洋生物研究教育施設に招いていただき研究内容や、見たことのない器械などの説明をしてもらいました。



アカウミガメの赤ちゃんを観察しました。
ふ化するとき、卵の殻を割るための**卵角**（くちばし上の突起）を見ることができました。成長するにつれて無くなるそうです。



ウミガメの卵の観察



小学生は、親ガメが砂浜で産卵し、保護施設（ふ化場）で保護されている卵についての説明を興味津々に聞き入っていました。



直径が4 cmのピンポン球より少し大きめの卵を割らないように、優しく慎重に触れていました。

子ガメの観察



高知海岸でふ化し、大学の施設で研究のため一時的に飼育している子ガメを見させてもらっていました。



大学の実習室で、生後3ヶ月になり学校で観察していた頃から成長した子ガメの体長や重さを計り、成長ぶりを見てよろこんでいました。

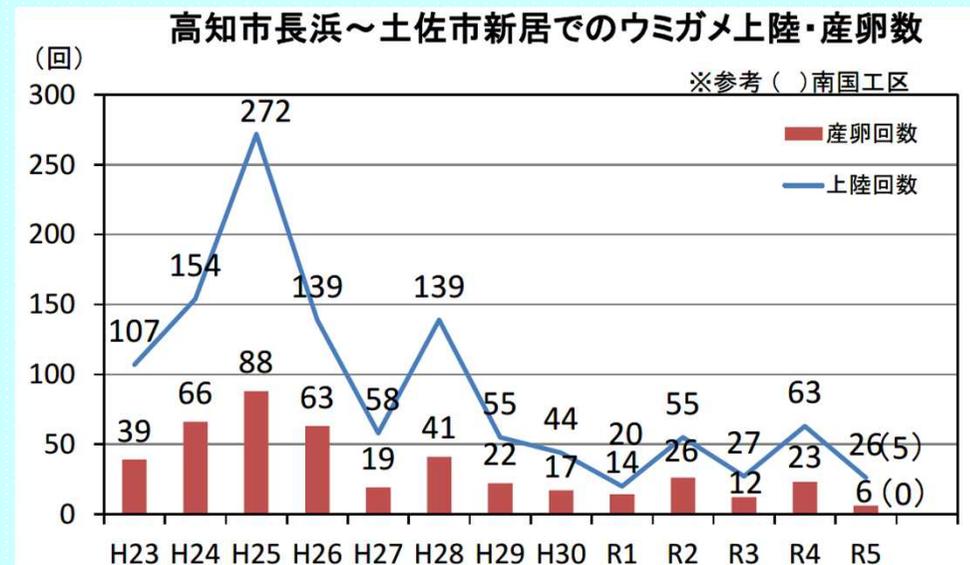
高知海岸におけるウミガメ保護活動

- 高知海岸(南国市十市～土佐市新居)では、5月から8月にかけてアカウミガメ（以下、ウミガメ）が上陸し、産卵します。
- 地域住民（南国市うみがめ守ろう会）や高知大学の海洋生物研究教育施設（海洋動物学研究室）が高知県から許可を受け、ウミガメの保護活動や研究に取り組んでいます。
- 高知市立春野東小学校、春野西小学校では毎年4年生の総合学習において、高知大学や高知河川国道事務所と連携して海岸の環境についての学習会、ウミガメの保護活動を行っています。
- 令和5年5月に高知海岸ウミガメ協議会を発足して、保護活動団体と情報交換を実施しています。

令和5年の実績（高知海岸）

- ウミガメの上陸産卵

上陸	26回	(5回)
産卵	6回	(0回)
 - 採卵ふ化場などへの移植 721個
 ふ化して海へ帰った子ガメ 480匹
 ふ化率は 67%
- ※ ()内は、南国工区の実績



今年度の保護活動を振り返って

車両進入防止対策（高知市仁ノ）5月～8月

- 車両の乗り入れによってウミガメの卵が潰れてしまわないように、仁ノ海岸に車両進入防止のロープを設置しました。
- 海岸を利用される皆様には、ご理解・ご協力いただき有り難うございました。



総合学習（採卵会）7月春野東小

- 例年は、6月に採卵保護した卵を小学校の孵化場に移植しますが、今年は、小学校に移植せずに孵化場でのウミガメの卵の観察と海岸で清掃活動を行いました。



総合学習（ウミガメ学習会）春野東小、西小

- ウミガメの生態を学ぶことで、海岸の環境に関心を深めてもらうことを目的に「ウミガメ学習会」を春野東小学校と春野西小学校と連携して開催しました。



ボランティア清掃活動

- 高知海岸パートナーシップでは、21団体が年間3回程度、清掃活動をしています。
- 海岸の漂着ゴミは景観を損ねるばかりか、ウミガメの産卵の妨げにもなります。

▼集めたゴミの様子



新居工区



長浜工区



戸原工区